

5

『高齢者が活躍する健康長寿社会』戦略

【戦略のねらい】

生涯を通じた健康づくりと高齢者が活躍する社会づくりを進め、活力ある健康長寿社会を実現します。

【施策展開の方向】

健康は、生涯を有意義に暮らしていくために極めて重要です。健康づくりや介護予防等への取組を通じて、高齢者の健康の維持や医療費適正化につなげていくとともに、団塊の世代等の高齢化が進む中、人生を楽しみながら自らの豊かな経験と知識を有効に活かしていくことのできる、活力のある健康長寿社会の実現を目指していきます。

(注)基本計画の関連する章・項・節です。

● 総合的な健康づくり・介護予防の推進

▶別冊 基本計画【2章 1項 2,4,5節】

循環器疾患、がん、糖尿病など生活習慣病対策の充実を図ります。

併せて、ヘルスロード^{*1}の利用促進を含め、県民総ぐるみでの健康づくり運動を進めるとともに、いきいきヘルス体操^{*2}などの運動の普及や、地域ケアシステム^{*3}、地域リハビリテーション支援体制の充実など、介護予防のための取組を進めます。

● 医療体制の整備

▶別冊 基本計画【2章 1項 6節 3章 3項 3節】

必要な医療技術者の確保に努めるとともに、放射線を利用した最新の画像診断装置の整備や、がん医療体制の見直し、地域救命センター^{*4}の整備促進など、いつでもどこでも安心して適切な医療サービスが受けられる体制の整備を進めます。

● 認知症対策の推進

▶別冊 基本計画【2章 1項 2節】

認知症^{*5}になってもその人らしく暮らせるよう、認知症を知る月間^{*6}の設定による県民の理解の促進や認知症介護アドバイザーによる介護家族等への支援、認知症サポート医の養成による早期診断・早期治療の推進など、認知症対策を進めます。

※1 ヘルスロード

健康づくりのために身近に歩け、また、子どもや高齢者、障害者が安全に歩ける道。県内に張り巡らし、誰でも安全に移動できる県を目標としている。

※2 いきいきヘルス体操

脳卒中による片麻痺がある人のための体操で、関節が固くならないように、寝ていても、座っていてもできるように組み立てられ、筋肉を伸ばすことを主目的にしたもの。

※3 地域ケアシステム

平成6年度に開始した本県独自の福祉施策であり、在宅の要援護者一人ひとりに保健・福祉・医療の関係者がケアチームを結成し、サービスを提供する仕組み。

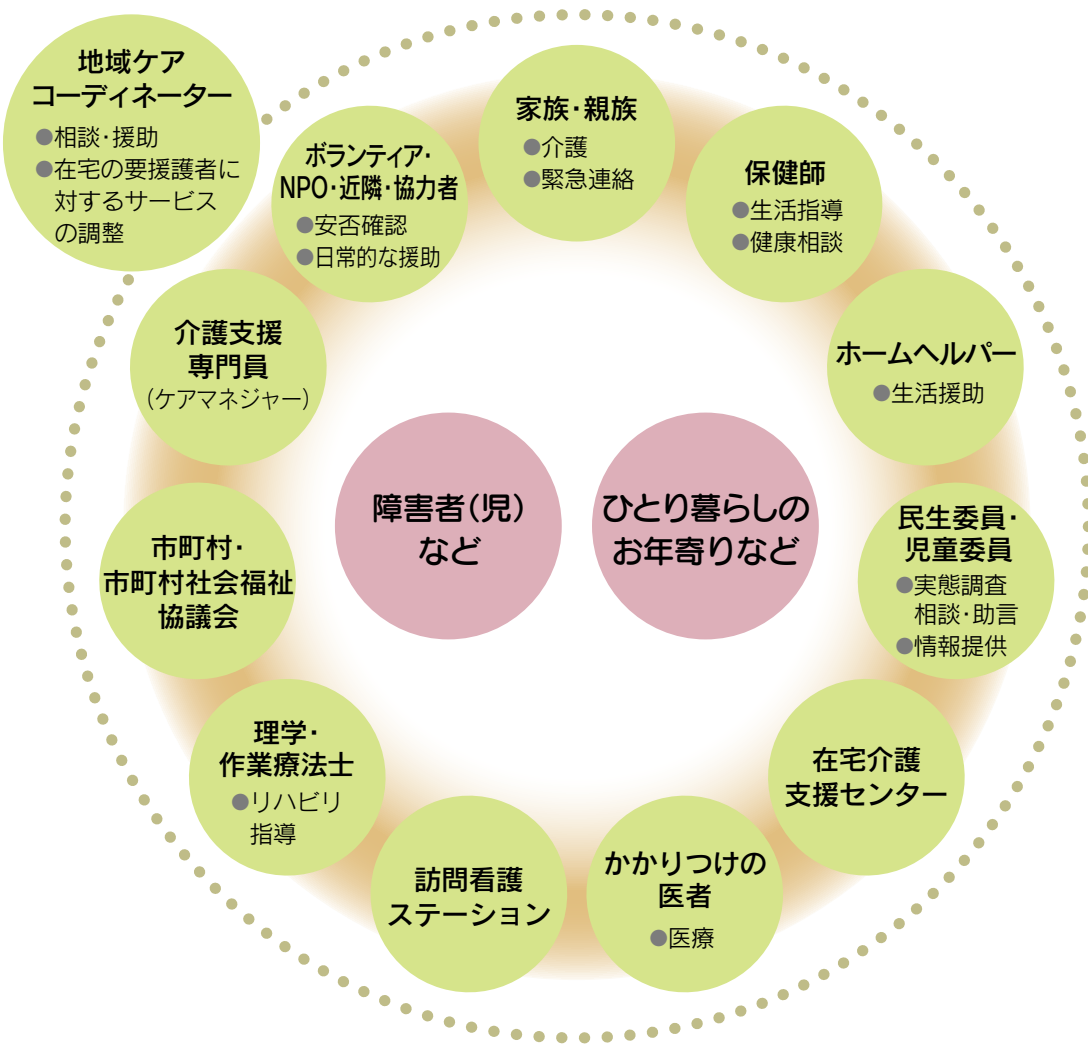
※4 地域救命センター

高度な診療機能を備え、24時間体制で脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重症救急患者に対する救命医療を行う小規模の救命救急センター。

●生涯現役で社会において活躍できる仕組みづくり
 ▶別冊 基本計画[1章 4項 2節 2章 1項 2節 2章 5項 1節 3章 3項 3節 3章 4項 1節]

豊富な知識や経験を生かした地域コミュニティ活動やボランティア活動など社会参加の促進，新たな知識や技術を習得するための学習機会の提供，働く意欲のある高齢者への就労支援など，生涯を現役として活躍できる仕組みづくりを進めます。

地域ケアシステムによる在宅サービスイメージ図



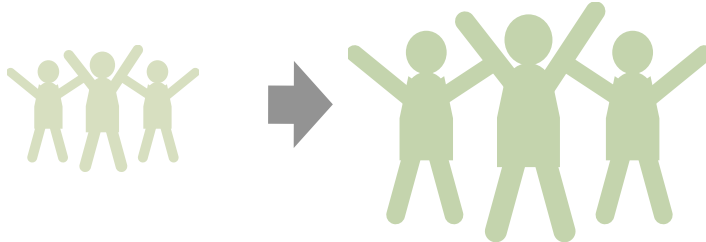
※5 認知症
 記憶、判断、言語、感情などの精神機能の減退が慢性的に持続することにより、日常生活に支障をきたした状態。

※6 認知症を知る月間
 世界アルツハイマーデー (9月21日)を含む9月を、県が県民の認知症に対する理解を深めるための推進月間とし、認知症フォーラムや街頭キャンペーン等を集中して開催する。

5 『高齢者が活躍する健康長寿社会』戦略

【数値目標】

● シルバーリハビリ体操3級指導士数^{※1}

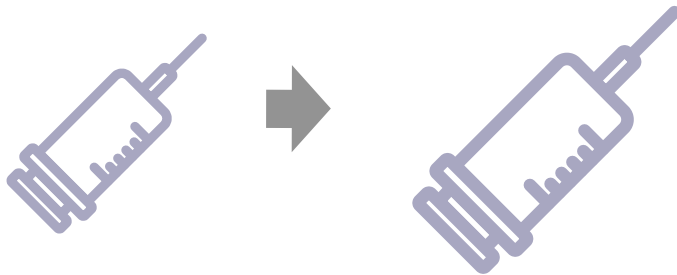


現状値(H16):29人

目標値(H22):4,420人

※地域における介護予防の担い手の養成状況を示す指標であり、遅くとも平成27年度までに1万人の養成を目指します。

● 健康診断受診率

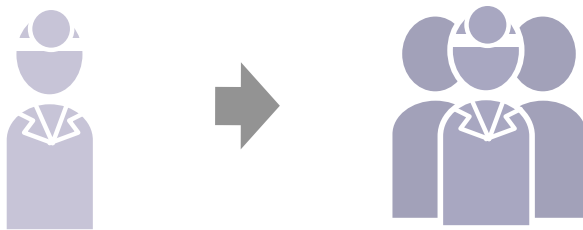


現状値(H15):64.8%

目標値(H22):80.0%

※健康管理に関する取組状況を示す指標であり、疾病の発生を未然に防止するため、受診率の大幅引き上げを目指します。

● 医師数



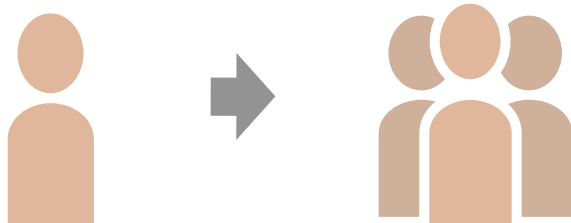
現状値(H16):4,483人

目標値(H20):5,000人

※医療を支える人材の確保状況を示す指標であり、医療提供体制の充実を図るため、大幅な引き上げを目指します。

※1 シルバーリハビリ体操指導士
地域の介護予防の担い手として期待されるボランティアの指導者。

● 就業看護職員数

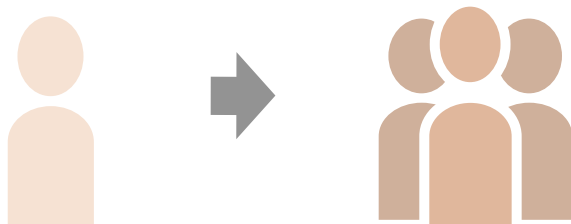


現状値(H16):22,619人

目標値(H22):29,189人

※医療を支える人材の確保状況を示す指標であり、医療提供体制の充実を図るため、大幅な引き上げを目指します。

● 認知症介護アドバイザー数

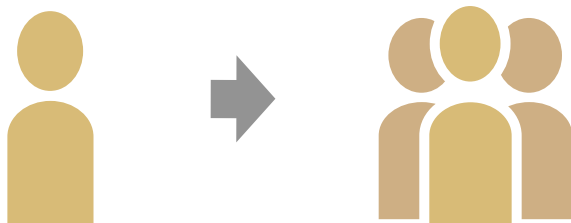


現状値(H16): -

目標値(H22):300人

※在宅認知症高齢者の介護者への支援体制の整備状況を示す指標であり、身近なところで専門家の相談を受けられる体制整備に向けて、新たに300人の養成を目指します。

● 高齢者雇用率



現状値(H16):4.0%

目標値(H22):
平成22年の全国平均値

※高齢者の労働への参加状況を示す指標であり、全国水準までの引き上げを目指します。